

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項 目	民謡・芸能・「第九」	対象学年	2年	場所	音楽室
テーマ	日本民謡・民俗芸能・伝統音楽・板東俘虜収容所の音楽活動と「第九」				
講 師	神戸大学名誉教授 岩井正浩				
講義内容					
2年					
1・2限	日本の民謡①②=仕事歌の系譜				
3限	日本の民謡③=沖縄、アイヌ				
4限	日本の民俗芸能=祇園祭、現代の都市の祭り				
5限	日本の伝統芸能=歌舞伎、狂言				
6限	板東俘虜収容所の音楽活動と「第九」初演				
<p>講師よりメッセージ=図書館に『民俗文化の伝播と変容』をはじめとした参考図書があるので利用することを勧めます。伝統芸能に関しては、是非劇場に出掛けて体験してください。歌舞伎、能楽、文楽、狂言など。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項目	オペラ(1)(2)	対象学年	2年	場所	音楽室
テーマ	(1)(2)オペラへのいざない (3)(4)オペラ鑑賞				
講師	神戸大学名誉教授 齊田好男				
<p>講義内容</p> <p>(1)(2)オペラへのいざない</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.オペラとは 2.オペラの種類 3.オペラにおける声 4.オペラに関わる人々 <p>具体的に映像を観て理解を深める。</p> <p>(3)(4)オペラ鑑賞</p> <p>「フィガロの結婚」「椿姫」「カルメン」「蝶々夫人」「魔笛」「こうもり」「ラ・ボエーム」 「こうもり」「メリーウイドウ」など著名オペラ・オペレッタより、映像によるオペラ鑑賞を行う。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>音楽の中で一番遠い存在と思われている‘オペラ’であるが、実際は最も人間生活に密接に結びついた表現、歌手さんは歌唱力とともに、優れた演技者であることが要求される。すべての表現要素を含んだパフォーマンスが「総合芸術」と言われる由縁です。</p>					

シルバーカレッジ シラバス (総合芸術コース音楽文化専攻)

項目	合唱	対象学年	2年	場所	音楽室
テーマ	合唱実技(3)(4)				
講師	神戸大学名誉教授 齊田好男				
講義内容					
1年時の内容を踏まえて、多様なジャンルの中から曲を選択し合唱を行う。 簡単な曲の中でも外国語歌詞の曲なども取り上げたい。					
講師よりメッセージ					
合唱は日本の童謡・唱歌から、邦人作品もの、クラシカルな曲からポップスまで、広い範囲に渡って多彩なジャンルの曲を楽しむことができます。					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース音楽文化専攻）

項目	音楽文化	対象学年	2年	場所	音楽室
テーマ	唱歌と童謡				
講師	大阪芸術大学講師 吉良武志				
<p>講義内容</p> <p>わが国の唱歌や童謡はどのように誕生したのでしょうか。</p> <p>明治期、学校教育の中に教科「唱歌」として音楽を取り入れた経緯を概観することから始め、「言文一致唱歌」「童謡運動」、戦後の「新しい子どもの歌」と辿っていきます。歴史を学習するだけでなく、その時代に歌われた歌をみんなで歌いながら、音楽文化の流れを感じ取っていただきたいと考えます</p> <p>後半には、小学校の音楽教科書の中から、講義時期に合わせた教材を扱って参ります。</p> <p>I. 音楽の伝来</p> <p>II. 唱歌の誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学制 ・伊澤修二の留学 ・メーソン先生との出会い ・音楽取調掛 ・「小学唱歌集」 <p>III. 教育の場に来た世界の民謡</p> <p>IV. 新しい歌の台頭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言文一致唱歌 ・滝廉太郎 ・月刊雑誌『赤い鳥』と童謡運動 ・ラジオとレコード <p>V. 戦後、子どもの歌の新生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『鐘の鳴る丘』（連続放送劇） ・放送番組の変化 					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>前述の通り、歌いながら講義内容を感じ取っていただきたいと考えます。</p> <p>音楽のない民族はありません。（厳密には楽器を持たない民族はいますが、歌のない民族は存在しません）</p>					

シルバーカレッジ 講義概要（シラバス）（総合芸術コース音楽文化専攻）

項目	音楽史 II(1-4)	対象学年	2 年	場所	音楽室
テーマ	ウィーンとベルリン - 都市の音楽史を語る（後半）				
講師	神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授 大田美佐子				
<p>講義内容</p> <p>音源資料や映像資料を使用して、以下の項目を中心に世紀末ウィーン、20 世紀のベルリンを中心とした都市の音楽史を学んでいきます。講義ではレジュメを用意します。</p> <p>(1) マーラー：インサイダーなアウトサイダー</p> <p>世紀末ウィーンの世界と音楽界の関係性、マーラーの復活交響曲などを中心にお話します。</p> <p>(2) シェーンベルク：歴史を回顧するモダニスト</p> <p>20 世紀の音楽の新しい潮流を生み出したシェーンベルクの創造性に迫ります。</p> <p>(3) 踊るベルリン</p> <p>20 世紀ベルリンの都市のエネルギーを映し出した、芸術キャバレーの世界とその先進性をご紹介します。</p> <p>(4) ベルリンからニューヨークへ</p> <p>大戦間期のベルリンで活躍し、ナチスのユダヤ人迫害を逃れてアメリカに亡命し、ニューヨークのブロードウェイでミュージカル界の寵児となったクルト・ヴァイルの創作世界をご紹介します。</p>					
<p>講師よりメッセージ</p> <p>歴史と伝統が深いウィーンの街並みから、新しい産業やメディアのエネルギーで沸いた都市ベルリンの音楽世界、そしてアメリカへ繋がる音楽世界のダイナミズムを皆さんと一緒に楽しみたいと思います。</p>					